



2018年10月31日

各位

会社名 ユナイテッド株式会社
代表取締役会長CEO 早川 与規
(コード 2497 東証マザーズ)

2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月8日に公表した平成29年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

※当社の2019年3月期通期連結業績予想は売上高と営業利益をレンジ予想しております。

	売上高	営業利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —
今回修正予想 (B)	26,900 ～29,100	10,000 ～11,000
増減額 (B - A)	—	—
増減率 (%)	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	14,444	1,648

2. 修正の理由

前回決算発表時において、2019年3月期の業績予想を非開示としておりましたが、今般予想値を得ましたので、お知らせいたします。

連結売上高及び連結営業利益につきましては、第1四半期連結会計期間において、インベストメント事業において投資先である㈱メルカリの上場に伴う株式売却益を計上したことにより、過去最高の連結売上高・営業利益を計上する見込みであります。

一方で、通期の業績見通しにつきましては、2018年8月3日に公表した中期経営計画「UNITED 2.0」(以下、「中期経営計画」といいます。)の達成に向け、当期は中期経営計画における投資期と位置付け、各事業への先行投資を実施していく見込みです。

アドテクノロジー事業におきましては、これまで収益の柱であった「adstir」「Bypass」が売上高減少傾向にあり、新規プロダクトである「ADeals」が立ち上がり始めているものの、前期比減収減益となる見通しであります。ゲーム事業におきましては、下半期にリリースした「東京コンセプション」及び新作ゲームタイトルのリリースとそれに伴うプロモーション及び開発投資により、前期比増収減益となる見通しであります。コンテンツ事業におきましては、成長期待事業における㈱アラン・

プロダクツ及び(株)Smarpriseをはじめとして、新規サービス開発のための人材採用及びM&Aを積極的に実施しており、前期比増収減益となる見通しであります。その他事業におきましては、(株)コインネー
ジによる仮想通貨取引関連事業参入のための準備費用が増加する見込みであります。

なお、当社グループが属するインターネット関連市場は、事業環境の変化が激しく不確定要素が大きい
ため、レンジ形式での予想とさせていただきます。

以上

■本リリースに関するお問い合わせ

ユナイテッド株式会社 IR担当

Tel: 03-6821-0008 E-mail: ir@united.jp